Spider® IV 30

取扱説明書

40-00-0190　　Rev E

安全上のご注意

注　意

感電の恐れあり
キャビネットをあけるな

警告：火災や感電の原因になりますので分解・改造は厳禁。修理・調整は販売店にご依頼ください。

警告：火災や感電の原因になりますので本機を雨や水がかかるところには設置しないでください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

本書の記載について:

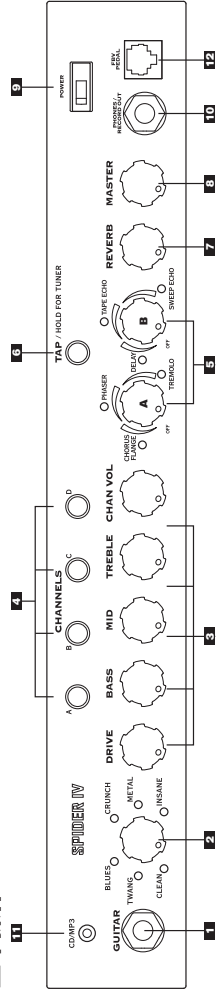
Line 6 及び M9は、Line 6社の登録商標です。このマニュアルに掲載されている写真、イメージ、登録商標、アーティスト名はそれぞれの所有者の権利に基づくものであり、このマニュアルではLine　6のデジタルモデリングテクノロジーを駆使し、独自に開発された音を適切に表現するためだけに使用されています。また、これらの写真、イメージ、登録商標、アーティスト名の使用において、いかなる協力やエンドースメントも関わるものではありません。

SERIAL NO: ________________

安全上のご注意を良くお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。

- 本書の注意事項を良くお読みください。
- 本書の注意事項を守ってください。
- すべての警告を守ってください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機を水気の近くで使用しないでください。
- お手入れは必ず乾いた布で拭いてください。
- 通気口をふさがないでください。取扱説明書で指定された場所に設置してください。
- 適切にアース接地されたコンセントに接続してください。

- 本機の電源プラグが合わないような場合は、電気工事を依頼し適切なコンセントに交換してください。
- 電源コードの接続部を無理に曲げたり踏んだりしないようにしてください。
- 必ず指定された付属品を使ってください。
- 本機の設置は弊社の推奨するカート、スタンド、ブラケットなどを使用してください。移動式のカートを使うときは転んでけがをしないように注意してください。
- 雷が近づいたり、長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- パワーサプライのコードやプラグが損傷したとき、内部に異物が入ったり液体がこぼれたとき、本機を落としたときなど、修理が必要な時はサービスセンターに依頼してください。
- 水滴のかかる場所での使用や保管はしないでください。本機の上に花瓶のような液体の入ったものは置かないでください。
- 警告:火災や感電の原因になりますので本機を雨や水のかかるところには設置しないでください。
- 本機はコンセントの近くに設置し、容易にプラグへ手が届くようにしてください。
- パワーサプライのプラグは必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- 大音量や不快な音量で長時間使用すると難聴や聴力障害を起こすことがあります。常に安全な音量で使用することを心がけてください。
- 次のような場合には修理が必要です。
  - パワーサプライのコードやプラグが損傷したとき
  - 本機の内部に異物が入ったり、液体が入ったりしたとき
  - 雨天や湿度の高いところで使用し、故障したとき
  - 本機が落下したりして損傷したとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき

基本操作

1. **GUITAR(ギター入力)** - ギターをここに入力します。
2. **アンプ・モデル** - このノブを回して12種類のアンプモデルから1つ選びます。LEDが赤または緑で点灯し、各モデルに属する2種類のアンプモデルを示します。 選んだアンプモデルに最も適したトーン、およびエフェクト・コントロールが全て自動的に設定されますので、すぐに演奏が楽しめます! モデル・ノブを時計方向へ回すに連れ、よりヘビーでディストーションの効いたサウンドへと変化します。
3. **トーン・コントロール** - ドライブ・ノブは普通のアンプでいうところの音量ノブやゲイン・ノブと良く似ていて、サウンドをどれだけ「濁らせる」かを設定します。BASS, MIDとTREBLEの各ノブは最適な音色調整ができるよう、各アンプモデルごとにカスタム化されています。
4. **チャンネル・メモリー** - 4つのプログラム可能なチャンネルには、工場出荷時において優れたプリセットが初期設定として用意されています。プリセットを保存する場合は、保存したい設定のA, B, CまたはDボタンを2秒間押します。
5. **Smart Control FX** - これらのノブを回し、優れたエフェクト・セッティングにアクセスしてみてください。

   ノブA でコーラス／フランジ、フェイザー、トレモロから選択し、微妙な効果から極端な効果まで、エフェクトごとに程度を設定できます。ノブを左いっぱいに回すとオフになります。

   ノブBでディレイ、テープ・エコー、スウィープ・エコーから選択し、低〜高の範囲でミックス設定します。タップLEDがディレイタイム設定にあわせて点滅します。ディレイタイムを変更する場合は、TAPボタンを押します。ノブを左いっぱいに回すとオフになります。
6. **TAP** - TAPボタンを数回押してディレイのテンポを設定します。

   内蔵チューナーを作動させる場合は、TAPボタンを数秒押したままにします。

   チューニングの際には、アンプ・モデルのLEDが基準、のギター・チューニング(E A D G B E)に応じて、CLEANからINSANEへと点灯します。(例えば、**CLEAN**= 低 E, **TWANG**= A, **CRUNCH**= D 等) 弦がどれくら高いか低いかを、以下のように4つのチャンネルLEDが点灯して示します:

   - **チャンネルA**が点灯:ピッチがかなり低い(偏差値が20セント以上低い)。
   - **チャンネルB**が点灯:ピッチが僅かに低い(偏差値が5セント以上低い)。
   - **チャンネルBとC**が点灯: 音が正確に合っている(偏差値が–5セントと+5セントの間)。

- **チャンネルC**が点灯:ピッチが僅かに高い(偏差値が5セント~20セントの範囲で高い)。
- **チャンネルD**が点灯:ピッチがかなり高い(偏差値が20セント高い)。

ギターが正しくチューニングされているか確信が持てない場合は、「5フレットチューニング」でダブル・チェックを行ってください。例えば、6弦5フレットを押さえ、その音を基準に解放した5弦を合わせます。5弦5フレットを押さえ、次は4弦解放と合わせます。他の弦もペアで同様に合わせていきますが、2弦は例外となり、この解放弦は3弦5フレットの代わりに3弦4フレットを押さえた音に合わせます。

7. **REVERB -** 仮想的空間を実際に呼び出してみよう。
8. **MASTER VOLUME -** 音色を変えずにアンプ全体の音量を調整します。
9. **POWER スイッチ -** Spider IV 30の電源をオン/オフします。
10. **PHONES/RECORD OUT -** ステレオのヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーから音は出力されません。この端子はREC OUTとしても使えます。その場合は、ステレオ 1/4インチTRS フォーンプラグケーブルでミキサーまたは録音機器に接続します。
11. **CD/MP3 インプット -** オーディオ音源を接続して、自分の好きな音楽やドラムマシンを聴きながら演奏できます。オーディオの音量は接続機器の出力コントロールで調整してください。機器の音量を最小にして接続してから、好みの音量に調整してください。
12. **FBV -** あるいはFBV Express MK II™を接続すると、チャンネル切り替え、タップテンポ設定、ワウ/ボリュームコントロール、チューナー機能など便利なコントロールができます。ここにFBV2™ を接続すれば、クリーントーンをオーバードライブのかかったサウンドに簡単に変化させることができます。

BOOST
TAPボタンを押したままDRIVEノブを 12時より右に回します。それにより、Spider IV 30のチャンネルA LEDが点灯します。ディストーションペダルでディストーションを低く設定して出力を大きくしたときのような「音の濁り」が加わります。アンプモデル前のギター信号をブーストするので、アンプモデルに入る信号レベルが大きいほどディストーションのかかりも大きくなります。

ノイズゲート
TAPノブを押したままREVERBノブを回します。このノブで内蔵ノイズゲートのオン/オフを切り替えて、ヒス/ノイズをカットすることができます。チャンネルAのLEDが点灯した場合、ゲートがオンになっていることを示します。初期設定では、CRUNCHを除きすべてのアンプモデルでゲートがオンになっています。

工場設定への初期化
工場出荷時の状態にリセットするには、チャンネルAボタンを押したまま電源をオンにします。警告:初期化によって、これまで作成したカスタムのサウンドがすべて消えます。消去してもいいかどうか、しっかり確認してから操作を進めてください。

その他のヒント
アンプモデルを選択すると、Spider IVはそのトーン・コントロールとエフェクトをそのアンプモデルに合った内容に自動設定します。このときエフェクトが自動設定されないようにするには、チャンネルDボタンを押したまま電源を入れます(ただしトーンコントロールの自動設定は解除できません)。この設定は、チャンネルDボタンを押したまま電源を入れるまでそのまま残ります。

詳細は、www.line6.com/manualsへアクセスしてご覧ください。
Spider IV 30パイロット・ガイドの最新バージョンは、オンラインでいつでもダウンロードできます。当社ホームページへアクセスした際は、ご自分のSpider IV 30のユーザー登録することを忘れないでください。あるいは本機付属のご愛用者カードに必要事項をご記入の上、投函してください。製品を登録することによって、お客様のSpider IV 30に万一保証範囲内で問題が生じた場合に補修サービスが受けられるほか、キャンペーンへの参加やスペシャルオファーを受けることができます。